

A. 日時：2011年5月27日(金) 18:00~19:40

B. 場所：建築会館会議室

C. 出席者：森山主査, 山田幹事, 大宮, 淡野, 長岡, 広田, 峯岸, 山口, 山名 計9名(順序不同, 敬称略)

D. 配布資料

- ① 煙指針(案) 講習会 質問に対するコメント(案Ver04) (山田茂)
- ② 中国の防火規制に基づく防災計画で達成される避難安全性能の事例研究(AIJ技術報告集) (森山)
- ③ アジアの都市型地下空間に適した防災計画手法に関する研究(AIJ大会梗概集) (森山)
- ④ 最近の海外の建築規制・建築基準の動向について (ビルディングライター) (山田茂)

E. 審議事項

1. 防火委員会の報告他

- ・ 委員長、幹事及び小委員会主査を除き、委員は2年任期で連続2期までとの規定がある。現委員でこの規定を満足する委員はいない。
- ・ 委員長推薦であれば、規定を満足していなくても可。そこで、各小委員会から1名の委員を推薦することになった。本煙小委からは、山田常圭委員を推薦することとした。

2. 煙本講習会 質疑応答(資料①)

- ・ 質問No. 1(換気兼用排煙設備)について
 - ・ 森山主査が参考文献を提示する。
- ・ 質問No. 11(ラッチ無し防火扉の閉鎖性状)について
 - ・ 付室の扉等にラッチがない場合で、付室の圧力上昇に伴って扉が開放することに対しては問題ないのか。
 - ・ 煙の侵入はないと考えられるので問題ない。
 - ・ ラッチの閉鎖トルクが小さい場合など、条件によっては必ずしも遮煙条件が満足されていない場合もあるのではないかと。また、盛期火災では遮煙が達成されても放射は遮断できない。
 - ・ 回答案を山田茂が作成して、mail審議とする。

3. 海外事情の紹介(資料②~④)

- ・ 今後、アジアで活動する可能性もあるので、情報収集をしたい。その場合、欧米の情報も必要となることが想定されるので、それらも併せて調べたい。
- ・ 早大では、留学生による母国の事情の調査・研究がされたことがある。(資料②, ③)
- ・ 理科大G-COEでは、ベトナムやバングラディッシュ等について調査・研究を行っているが、法整備は遅れている。
- ・ しばらく、情報収集を続ける。

以上

次回の委員会は、2011年7月7日(木) 18:00~20:00、本会会議室で開催します。

議題(1) 海外事情の紹介 (2) 今後の活動内容 等

(社)日本建築学会 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2051 FAX 03-3456-2058